

科学と社会委員会（第24期・第1回）議事要旨

- 1 日 時 平成29年12月1日（金） 10:00～11:48
- 2 場 所 日本学術会議6階 6-C（1）会議室
- 3 出席者 渡辺 美代子（副会長）、遠藤 薫（第一部会員）、藤原 聖子（第一部会員）、
甲斐 知恵子（第二部会員）、小安 重夫（第二部会員）、平井 みどり（第二部会員）、
古谷 研（第二部会員）、坪井 俊（第三部会員）、藤井 良一（第三部会員）
（欠席） 小林 傳司（第一部会員）、松浦 純（第一部会員）、西村 いくこ（第二部会員）、
高橋 桂子（第三部会員）、中村 崇（第三部会員）
（事務局） 糸川参事官、齋藤参事官補佐、鳥生審議専門職、大橋審議専門職、辻学術調査員、
三武情報係長、奥野審議調査専門職

4 議事要旨

【科学と社会委員会役員の選出について】

- 委員長により、副委員長には小林委員が、幹事には小安委員と高橋委員が指名され、委員会の同意を得て了承された。

【科学と社会委員会の運営について】

- 第24期に向けた本委員会の運営について、渡辺委員長より科学と社会委員会構成案（資料3）に基づき説明し、審議したところ、分科会の設置については原案通り決定することが了承された。
- 持続可能な開発目標（SDGs）への対応については、本委員会で扱うことで大筋は合意したが、多岐にわたる内容からして、本委員会でどう取り組むべきものか、日本学術会議全体として考える必要があるのではないか等について議論があり、引き続き検討することとなった。
今回の主な意見は以下の通り。
 - ・SDGsとフューチャー・アースは範囲が被るので、本委員会とフューチャー・アースの推進と連携に関する委員会との住み分けが必要ではないか。
→渡辺委員長が、会長及び武内副会長と相談することとなった。
 - ・国際科学会議（ICSU）のSDGsに関するレポートについて勉強する必要がある。
 - ・次回委員会で、前期SDGs分科会の委員からのヒアリングを行いたい。
- 分科会の設置及びサイエンスカフェへの対応から委員決定を急ぐ必要がある科学力分科会（後に「市民と科学の対話分科会」に名称変更）の委員の決定について、12月22日の幹事会に提案することが了承された。
- 12月22日の幹事会に提出する分科会の内容については、委員長と事務局に一任することとなった。
- 次回委員会は1月～3月に開催することし、事務局で日程調整を行うこととなった。

以 上